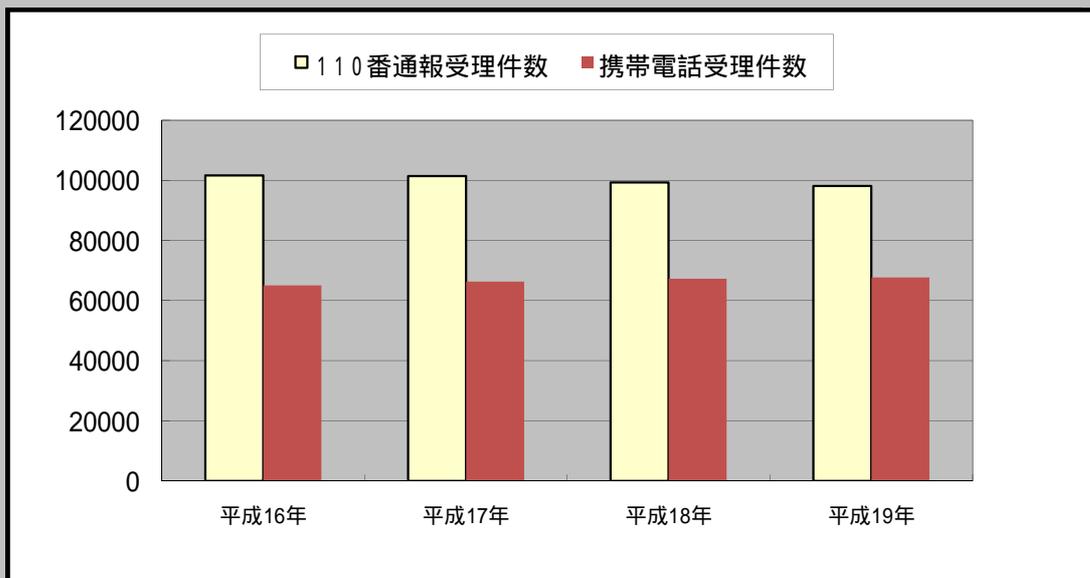


業務名

初動警察活動の推進

業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位
緊急配備実施件数	74	72	92	69	件
110番通報受理件数	101,679	101,374	99,276	98,101	件
(うち、携帯電話等受理件数)	65,025	66,281	67,256	67,861	件
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	単位



業務の主なコスト

	事 業 名	平成19年度事業費(千円)	平成20年度事業費(千円)
1	地域警察費	1,861	610
2	総合指令警察運営費	1,607	4,669
3	通信指令室機器維持管理費	203,830	179,551
4	ヘリコプター運用・維持費	52,777	69,640
5	ヘリコプター維持管理費		6,353
6			
7			
8			
	合 計	260,075	260,823

平成19年の取組み

1月10日の「110番の日」に県、市町広報誌、交番駐在所広報紙、ケーブルテレビ、ラジオなどのメディアを通じて110番の適切な活用を呼び掛けるとともに、ショッピングセンター等において「110番教室」を開催し、110番の正しい利用方法について広報啓発を実施した。

また、年間を通じて110番センターの見学者に対し広報活動を実施した。

凶悪犯罪や持凶器等事案発生時における対応マニュアルを策定し、迅速的確な緊急配備を実施し犯人検挙の向上に努めた。

携帯電話、IP電話等からの発信者位置情報システム導入の改修整備を行い、平成20年3月1日から運用を開始した。

課題と平成20年の取組み

三重県警察は、年間約10万件的有効110番を受理している。110番通報は、県民の声を生で聴き迅速的確に対応することが期待され、凶悪事件等の発生に際しては迅速かつ的確な緊急配備を実施して、検挙件数の向上を図る。

緊急電話としての110番機能を確保するため、いたずら電話等を解消するための広報啓発活動を推進し、広く県民に110番制度の周知とその適切な利用の促進を図る。

警察職員の無線通話技能の向上を図るため、無線機の積極的な活用等について繰り返し指導・教養を実施するとともに、特に警察署の若年警察官、本部執行隊の警察官には緊急事態を想定した実戦的教養訓練を実施する。